



2月定例会から

掛川市議会は3/25まで2月定例会開催中です。

一般質問を終えて

①子育て支援の無償化施策の拡大を問いましたが、前向きに切り替えていくという回答はありませんでした。子育て施設屋内遊び場みろっこの使用料金・学校給食費・育休明け保育料・子どもの国保税均等割など子育て支援の無償化は少子化をくい止め、まちを活性化させる予算です。受益者負担・自己責任の子育てをみんなで子どもを育てていく社会に切り替えていくために要望しつづけます。

住宅リフォーム助成制度の廃止

②安全に心地よく過ごすための道路や歩道、河川敷、公園、公共施設などの維持管理は他の議員さんからも、そして予算審議の中でも指摘されています。開発予算を待つだけでも、予算付けの優先順位を変え、今あるものの整備を優先させることが大切だと改めて思いました。

③投票所や投票の仕方などの見直しは、残念ながら4月の選挙には間に合わないようですが、しっかりと見直しをして選挙権行使をちゃんとサポートするように引き続き要望します。

今まで制度を利用していた業者さんには来年なくなるという一枚の葉書が届いただけ。人気が予算をいつもオーバーし、補助が10万円の上限から削られてしまう。もっと予算額を増やし、使い勝手のよい申請や方法への検討を求めていたのが、制度自体が廃止に。今原材料費も高騰して苦しんでいる中小・小規模業者が仕事を受注する支援でもあったのに…

大企業向け、新規起業などは支援するが、地元で踏ん張っている小さい業者へ支援の視点がまわらないことに憤りを感じます。商工会議所と市の担当だけで決めてしまっているのは乱暴すぎます。何だか悔しくて私は寝付けませんでした。

生活保護世帯へのエアコン設置

昨年9月の一般質問でも求めたいたエアコンのない世帯への設置の予算付け（世帯67,000円上限）がされました。命を守るためにも今やエアコンは必需品です。制度を新たに利用する方にもエアコンがない場合同額の措置がされます。物価高騰に追いつかない保護費から自分で工面するのは難しく、公の援助が必要です。

利用が広がる補聴器購入助成制度

昨年度が231人、今年度は3/10です。すでに229人の利用があった補聴器購入助成制度は来年度も170人分が予算化されています。（超えた場合は補正が組まれる）

難聴がひどくなる前に使い始めることが大事と言われます。じゃあ私もと利用が増えることで、認知症を予防し、元気に社会参加できる高齢者が増える積極的な制度でよい制度ができてよかったですと思います。請願に粘り強く取り組んだ市民の皆さんに敬意を表します。

一般質問で取り上げた危険箇所(一部抜粋)

ねんざさせるためのワナ? と思うような県道信号機脇の側溝のふた。質問の後直りました。



生涯学習センターの段差は、先日も利用者の方が目の前でつまづいていました。実際骨折事故も複数起きているのに、トイレ改修もふくめ、全体修繕計画がたてられていません。



来年度の予算書を読むと悲喜こももですが、少しでも喜が悲を上回るようにしたいです。

大丈夫か日本

トランプ大統領の発言を聞いてみると、関税をかけ、軍事費増を求める。自国の利益優先で地球的な課題に背を向ける排他的で独善的な危険な道を突き進んでいます。「日本の軍事費をGDPの3%に」とのアメリカ国防次官候補の発言もアメリカベったりで、何でもいなりになる日本の自民党政府では日本の主権が守られるとはどうも思えません。

自民党政治の審判を下して、早くともな政治に切り替えないと大変なことになると思います。



掛川桜ライトアップ

石破首相

10万円商品券配る

官房長官・副長官同席の公邸での会合はどう考えても「私的」ではありません。ポケットマネーで配り、政治資金収支報告書に記載しないお金は「典型的な裏金」です。自民党の「政治とカネ」の感覚にあらためてびっくり。